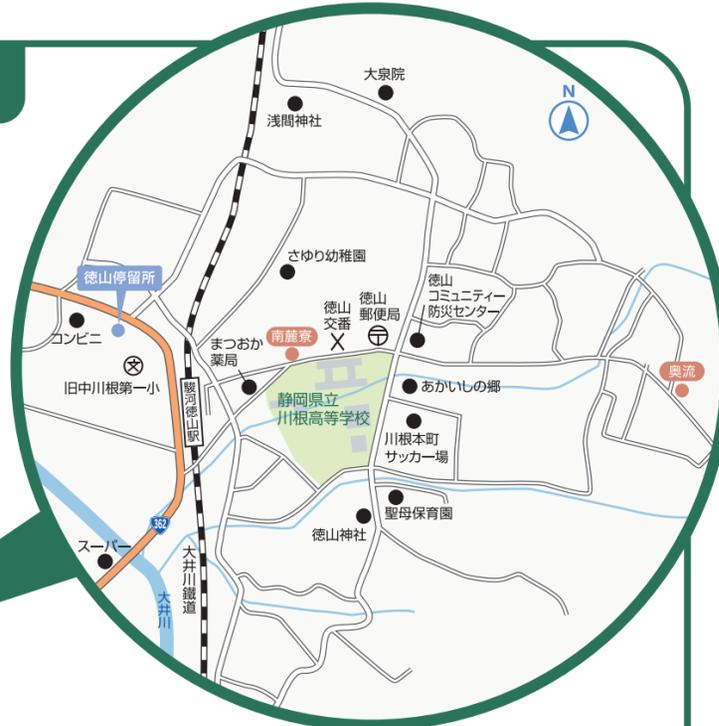


交通アクセス ガイド



私たちがつくる かわねStories。



川根本町教育委員会教育総務課

静岡県榛原郡川根本町千頭1183-1
TEL.0547-58-2555 FAX.0547-59-4025
kyouiku-soumu@town.kawanehon.lg.jp

川根本町役場



静岡県立川根高等学校

静岡県榛原郡川根本町徳山1644-1
TEL.0547-57-2221 FAX.0547-57-2446
kawane-h@edu.pref.shizuoka.jp

川根高校



南アルプスの麓から流れる 大井川の中流域に位置する 自然が豊かな町。

川根本町は、南アルプス南部の山々が織り成す四季折々の彩りが美しい自然豊かな山間の町です。豊かな自然環境と共に暮らしてきた人々の歴史・伝統・文化を未来に残す価値があると世界的に認められ、ユネスコエコパークに登録されています。寸又峡温泉をはじめ、接岨峡温泉、白沢温泉、千頭温泉など良質な温泉、さらには、日本で唯一のアプト式鉄道など観光資源にも恵まれ、一年を通し多くの観光客が訪れます。

また、大井川渓谷を取り巻くように茶園が広がり、ほのかな香りと、余韻が残る味の深さで評価の高い、「川根茶」の生産地と全国的に知られています。

2003年開催の静岡国体では、カヌー競技が行われ、以来「カヌーの町」としてカヌー教室やカヌー大会も定期的に開催されます。

文化面では、徳山の浅間神社で毎年8月に奉納される「徳山の盆踊」が2023年にユネスコ無形文化遺産に登録され、町の誇りとして厚く保護されています。

そうした様々な長所が程よく調和し、まるで町全体がひとつの家、町民全員が家族のような眼差しの人情味あふれる暖かい地域社会を形成しています。



川根高校横の「徳山の枝垂れ桜」



寸又峡温泉の「夢のつり橋」

接岨湖に架かる「レインボーブリッジ」と大井川鉄道の南アルプスあぶとライン



この町で、新しい一歩を踏み出してください。

豊かな自然はもちろんですが、川根本町の一番の自慢は人の温かさです。地域の方々との関わりの中で、沢山学んでほしいことがあります。回り道をしてもいい、大切なのは前に進むこと。快適な寮、町営の塾も作り、勉強やスポーツに思いきり挑戦できる環境を整えました。町ぐるみで皆さんを歓迎します！

川根本町長 藪田 靖邦

ここでなら、自分を変えられる、成長できる。

ここでは、新しい環境や人との出会いがあります。きっと、新しい自分にも出会えるはず。県内外から生徒が集うので、時代が求める「多様性を認め合う力」も自然と身に付きます。卒業後の進路についても、進学でも就職でも、その希望を叶える環境があります。さあ、チャレンジ精神を持って来てください。

校長 中村 泰子



あなたの個性を、今ここで。

新しい環境に飛び込むためには、勇気が必要です。

もしも、あなたがその勇気を持ってくれたなら、私たちはあなたの勇気に全力で応えます。ここには個性を伸ばす学び、高め合える仲間、そして新しい自分との出会いが待っています。

さあ、あなたらしい高校生活の始まりです。

何人で授業を受ける？
少人数で安心！

生徒数が他校の1/5程度！最大約30名～最小数名で授業を行っています。授業で使用できるタブレットや実験器具も一人1台ずつ使用でき、グループワークや個別フォローも充実しています！



1対1で進路を
一緒に考えてくれる先生がいる。

全ての3年生にチューター（担任以外の進路相談のための担当教員）がつき、進路実現に向け、充実した個別相談を行っています。四年制大学や専門学校、就職など様々な進路希望に、先生も全力で応えます！



町全体が教室！
町をフィールドに活躍。

「総合的な探究の時間」を中心に、町の産業や文化・歴史をテーマとした体験やフィールドワーク、企画提案等の学習を行っています。地域の様々な人とふれあい、学校の中だけではできない活動をしています！



voices of current students

在校生の声



以前は人前で話すのが苦手でした。
今は自信をもって話ができます。

勉強の分からない部分も丁寧に教えてもらえる少人数制の川根高校に進学しました。寮生は全国各地から集まっています、知らない地方のことを知ることができ、視野が広がり、いい刺激を貰っています。1クラス13人なので発言の機会が増え、自分に自信がもてるようになりました。

長塚比菜/令和6年度入学(地元出身)



授業、部活、塾を両立。
時間を効率よく使えるようになりました。

カヌー一部で活動したくて進学を決めました。カヌー一部の練習場は接岨湖。部員10人で大会上位入賞をめざして頑張っています。川高の魅力は先生と生徒、生徒同士の距離が近いところ。お互いをよく知っているのなんでも気軽に話すことができ、充実した日々を過ごしています。

西田康平/令和6年度入学(地元出身)



豊かな自然とのんびりした校風が
自分に合っていて毎日が楽しいです。

規模の大きな私立中学に通っていましたが、自分に合う少人数制の高校を探していた時、川根高校と出会いました。初めて訪れた時、豊かな自然と先生や生徒の温かな雰囲気に触れ、ここへの入学を決めました。少人数なので、何をやるにしても自分から率先して動くようになりました。

川村友斗/令和5年度入学(静岡市出身)

川根で過ごす3年間

学校での様々な行事の他にも、地域との交流を行えるイベントなど、新しいことにチャレンジできる機会がたくさんあります。
3年間で、自分自身を発見し、自分の将来について考える時間を過ごしてください。

1年生

First year

4月

●入学式



5月

◆お茶摘み体験
お茶農家さんでお茶の手摘みを体験したり、加工の様子を見学し、地域の産業について学びます。



●学年DAY

6月

●南麓祭/文化の部
◆しごトーク(職業講話)
●大学見学



◆地区の美化活動

●南麓祭/文化の部

●学年DAY
学年ごとに、バスや電車で学校外へ出かけます。BBQや洞窟探検を楽しんだり、水族館、植物園などの観光地を訪れることもあり、学年の仲が深まります。



●南麓祭/文化の部

●学年DAY



◆しごトーク(職業講話)



◆地域ボランティア活動
年間を通じて様々な活動に参加。

町主催行事



9月

◆地区の防災訓練

●カナダ研修
約10日間、カナダ・バンクーバー近郊の家庭にホームステイしながら語学研修を行います。ホームステイでは異文化体験を通じて語学力・国際力を高めることができます。

●インド研修
約10日間、インド・チェンナイにてZOHOジャパンの支援のもとプログラミングや英語などを学びます。現地ではZOHO企業内学校の授業に参加し、インドの学生と共にICTについて学ぶことができます。語学力・国際力を高めることができます。



10月

11月

●南麓祭/体育の部
●芸術鑑賞



●修学旅行
広島で平和学習や民泊体験を行います。戦争の歴史や平和について学びを深め、民泊先で離島ならではのアクティビティを楽しみます。



●芸術鑑賞

12月

●球技大会



◆地区の防災訓練

●球技大会



●球技大会



◆地区の防災訓練

1月

●3年生を送る会

●3年生を送る会

2月

◆川根地域交流会
川根地域の連携中学校と、1年間で地域について学んだことを発表したり、発表について意見を交換したりします。

◆川根地域交流会



3月

●卒業式



◆川根地域交流会



2年生

Second year

3年生

Third year

夏服のバリエーション
スラックス・スカート×ネクタイ・リボン×長袖・半袖のYシャツで組み合わせ自由!
クールビズ期間は、ネクタイ・リボンは着用なしでもOK。



冬服のバリエーション
ブレザー&セーター・ベストを着用!
スラックス・スカート×ネクタイ・リボンは組み合わせ自由。コートは黒や紺、部活動指定の防寒着がOK。



未来に向かってGO!

探究的な学び

総合的な探究の時間(1・2・3年生)

1年生では「知る」、2年生では「関わる」、3年生では「磨く」をテーマに、生徒一人ひとりが「問い」を設定して探究したり、学校外の方々や団体等と関わりながら、課題解決型のプロジェクト学習を行っています。



地生学(3年生)

実社会をフィールドに、教科横断的な課題解決型学習を〈人文科学〉〈社会科学〉〈自然科学〉の3分野に分かれて行っています。それぞれ地域に飛び出し、地域と繋がりがながら、生徒自身が実践しています。



地域サポーターさんインタビュー

伝統を受け継ぎ広める力を、川高生たちに感じています。



川根本町
徳山古典芸能保存会
事務長
上野 信吾さん

女子が踊る「ヒヤイ」、男子の「鹿ん舞」、成人男性の「狂言」からなる徳山の盆踊は、国の重要無形民俗文化財です。400年もの歴史を持つ芸能を、現代の若者が演ずるだけでも意義があるのに、ある女子生徒は徳山の古典芸能を探究学習の題材に選び、もっと知ろう、みんなに知ってもらおうと行動してくれました。小学生の頃から知っている地域の子どもが成長していると感じられたことが、素直にうれしかったです。男子生徒も、鹿ん舞の動画をSNSで発信しようと奮闘しています。川高生との交流は、地域の力になっていくと期待しています。

地域サポーターさんインタビュー

交流して、知り合えてよかった。みんなに期待しています。

(株)KAWANE SENSE
代表取締役
NPO法人かわね来風
事務局長
浜谷 友子さん



「この町に住み続けるために今、私たちができる事」をテーマに様々な活動をしています。今回、地生学で取り組むのは「川根本町ゆず」を素にした新しい特産品「ゆずカット果実」の販売促進です。飲食店へのアポイントの電話をためらわずにかける川高生の姿に驚くと共に、頼もしさも感じました。次は一緒にお店に出向き、売り込みをかける予定です。分からないことは迷わず聞こう。困った時に助けてもらえる、そんな人間関係を築ける人になってほしいですね。

川根留学について

県内・県外を問わず、川根地域外から川根高校で学ぶことを「川根留学」といいます。「川根留学」は平成26年度から県内、平成28年度から全国での受け入れを開始し、現在では在校生のうち、半数以上が川根留学生です。

川根留学でできること



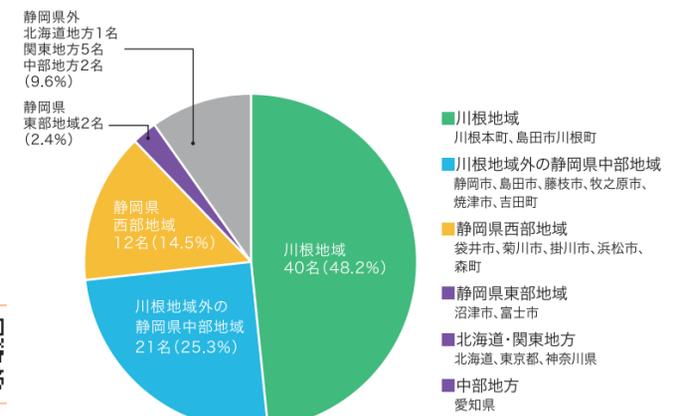
入学者選抜の詳細

川根高校ホームページ
体験入学等の案内もアップされます!



在校生の出身地域(市町村)

※令和6年度10月時点



川根留学生のための2つの寄宿舎

南麓寮(男子)

NANROKU



学校まで
徒歩1分



使用料

東棟(2人部屋)：毎月 30,000円
西棟(個室)：毎月 40,000円
※朝・夕食、光熱水費込み(今後、段階的に増額します)

若者交流センター 奥流(男女)

OURU



学校まで
徒歩15分



使用料

全室(個室)：毎月 40,000円
※朝・夕食、光熱水費込み(今後、段階的に増額します)

- 24時間スタッフが常駐し、栄養士が考案するバランスの取れた食事を地元の調理員が作っています。
- エアコン、Wi-Fiが完備されています。
- 地域との交流イベント等も開催しています。

川根留学のリアルを紹介

川根本町ホームページ
施設内部の360°ビューや寮生の様子をチェックできます。



寮生のライフスタイル

親元を離れて寮で暮らす先輩たちは、何を感
じて、どの様に日々を過ごしているのだろう。
寮生活のこと、成長した部分、中学生へのメッセ
ージなど、先輩たちのリアルな声を集めてみました。

成長した部分は？

- 並 木:** 掃除、洗濯など家にいた時は親任せだったことを、全部自分でやるようになりました。
- 佐 藤:** 身の回りのことを進んでやるようになりました。時間の使い方もうまくなったと思います。
- 大 友:** 限られた自由時間を有効使うため、あれこれ考えて行動できるようになりました。
- 日比野:** 行動面、精神面共に以前より自立できています。寮生活も部活も充実していて楽しいです。

寮の雰囲気は？

- 並 木:** 個室は少し狭いけれど慣ればとても快適。料理はバラエティ豊かで、毎日食事が楽しみです。
- 佐 藤:** 個室は人それぞれの個性が出て面白いです。食事は友達とワイワイ食べるのにぎやかです。

- 大 友:** 共有スペースで友達とおしゃべりし、個室では一人でのんびりと。メリハリのある暮らしです。
- 日比野:** 料理のメニューが豊富でどれもおいしいので、みんな食事の時間を楽しみにしています。

楽しいこと・大変なことは？

- 並 木:** 学校も寮も人なつこくてあったかい人が多いです。親と離れている分、自立心が養われます。
- 佐 藤:** 寮生活は自分でやることが多いので、自分で考えて積極的に動くことが大切です。
- 大 友:** 寮生活は集団のルールを守ることや、友達といい関係を築くための、勉強の場でもあります。
- 日比野:** 学校の延長みたいに友達とふざけたり笑ったり。お互いにいい意味での気遣いもできています。

僕は寮のある学校で野球に打ち込みたくて川根高校に決めました。高校時代を友達と一緒に暮らせるのは、貴重な体験だと思います。

【奥流】佐藤 絢亮
令和6年度入学(浜松市出身)

私は少人数制の高校に進学したくて、地域留学にも興味があったので川根高校に来ました。みなさんも目標をもって高校選びを!

【奥流】大友 雄
令和5年度入学(北海道釧路市出身)

最初は不安でしたが、みんな同じ気持ちだしすぐ慣れるから大丈夫。近くに娯楽施設がなくても、豊かな自然を満喫できて快適です。

【奥流】並木 颯汰
令和6年度入学(東京都出身)

カヌーでインターハイ出場の夢が叶い、毎日充実しています。高校生活を楽しむには、夢を持ち続けることが大切だと思います。

【奥流】日比野 綾芽
令和5年度入学(静岡市出身)

日比野君の1日

平日のタイムスケジュール

06:15 ~	起床
06:15 ~ 06:40	朝食
06:40 ~	朝点呼
06:45 ~ 06:55	掃除
07:00 ~	登校
07:20 ~ 08:00	朝練習(カヌー部)
学校	
16:30 ~ 19:00	部活動(カヌー部)
19:00 ~	帰宅
19:15 ~ 19:45	夕食
20:00 ~	入浴・洗濯
21:00 ~	夜点呼
23:00 ~	就寝



週3で朝練です。

毎日メニューが楽しみ。

就寝までの自由時間は自習をしたりYoutubeを観たり。

休日のタイムスケジュール(部活なし)

06:15 ~	起床
06:15 ~ 06:40	朝食
07:05 ~	朝点呼
07:30 ~ 08:00	ランニング
08:30 ~ 15:30	ロードバイク
16:00 ~ 17:00	友達と共有スペースで寛ぐ
18:00 ~ 18:30	夕食
20:00 ~	入浴・洗濯
21:00 ~	夜点呼
23:00 ~	就寝



鳥田や静岡まで走る。そのまま実家に帰ることも。片道数十キロくらいは楽々走れます。

大友さんの1日

平日のタイムスケジュール

06:15 ~	起床
06:15 ~ 06:40	朝食
06:40 ~	朝点呼
06:45 ~ 06:55	掃除
07:30 ~	登校
学校	
16:30 ~ 18:00	部活動(吹奏楽部)
18:00 ~	帰宅
18:30 ~ 19:00	夕食
19:30 ~ 21:30	公営塾
21:30 ~	入浴・洗濯
22:00 ~	夜点呼
23:00 ~	就寝



吹奏楽の大会目指して頑張っています。

進学希望なので勉強も頑張ります!

休日のタイムスケジュール(部活なし)

06:30 ~	起床
06:30 ~ 07:00	朝食
07:05 ~	朝点呼
08:00 ~ 08:30	自室の掃除・片付け
08:30 ~ 12:00	自由時間
12:00 ~ 13:00	昼食
13:00 ~ 17:30	自由時間
18:00 ~ 18:30	夕食
20:00 ~	入浴・洗濯
21:00 ~	夜点呼
23:00 ~	就寝



友達とおしゃべりしたり動画を観たり好きな絵を描いたり。

家から送ってもらった衣類・日用品などのリストを作ったり。

寄宿舎(寮)の生活

南麓寮、奥流。それぞれ特徴ある寄宿舎で暮らす先輩たちと、その暮らしを支えてくれる皆さんの声を聞いてみました。あなたはどの寄宿舎で高校生活を送りたいですか？ 未来の自分をイメージしてみてください。



寮生インタビュー

朝起きて最初に会うのが友達
絆は確実に強くなっています。

寮生活は、最初は知り合いもなくて心配でしたがすぐに馴染めました。みんな同じ気持ちだったようです。友達と一緒にいる時間が長いので、時には意見の対立もありますが、今ではお互いに相手の意見を尊重できるようになりました。寮生活で友達との絆は確実に強くなっています。



自分の好きなものを飾って
個室で過ごす時間も快適に。

寮の個室はコンパクトですがキレイで快適です。好きなプロ野球チームのユニフォームを飾って、自分の部屋らしさを出しています。野球部は全員寮生活をしているので一緒に過ごす時間が長く、それがチームワークの良さにつながっているのではないのでしょうか。

奥流
柴 虎鴻 令和6年度入学(静岡市出身)



おいしい食事がいつも楽しみ
黒はんぺんには驚きました。

彩りよくおいしい食事が寮生活の魅力です。地元では食べたことがない黒はんぺんを初めて見た時は驚きましたが、今ではすっかり慣れました。寮生だったカヌー一部の先輩とは卒業後もつながりがあり、長くつきあえる人間関係ができるといいなあと思っています。

奥流
山田寧々 令和5年度入学(名古屋市出身)

南麓寮
武井楓生 令和5年度入学(島田市出身)



staff interview

私たちスタッフが全力でサポートしています。



夜間業務員
西田 稔

親代わりとして
みんなを見守り、支えています。

私の役割は主に夜間の寮生活を安全で快適にすること。基本は見守って、何かあれば相談のったり、指導をしたり。イメージとしては寮生の親父ですね(笑)。ここでは勉強でも部活動でも本気で打ち込める環境がある。いつも隣に仲間がいる環境は素晴らしいですよ。



昼間業務員
芦沢 由子

寄宿舎にいる間も、卒業してからも、
私たちはあなたの味方です。

生徒たちが学校に行っている時間の寄宿舎の管理、掃除や洗濯の補助など、生活の環境を整えることが主な仕事です。楽しみなのは生徒たちとたくさん話せる土曜日と日曜日。悩みごとや恋愛の相談にものりますよ。みんな親元を離れて、よくがんばっているなあと感じています。



調理員
丹田 祐介

苦手なモノも食べてみて。
挑戦する力が身につくと思うから。

寮生活の食に関する全般的なサポートをしています。食べる様子を見ていけば、健康状態も、心の状態もわかりますから、「何かあった？」と声を掛けることもありますね。みんなの成長していく姿を、3年間ずっと見ていられることが一番の喜びです。

川根本町公営塾

プロフェッショナルな講師の指導なのに、公営だから安心して通える塾があります。

勉強ができるようになる 解らないことが解るようになる 志望校に合格する

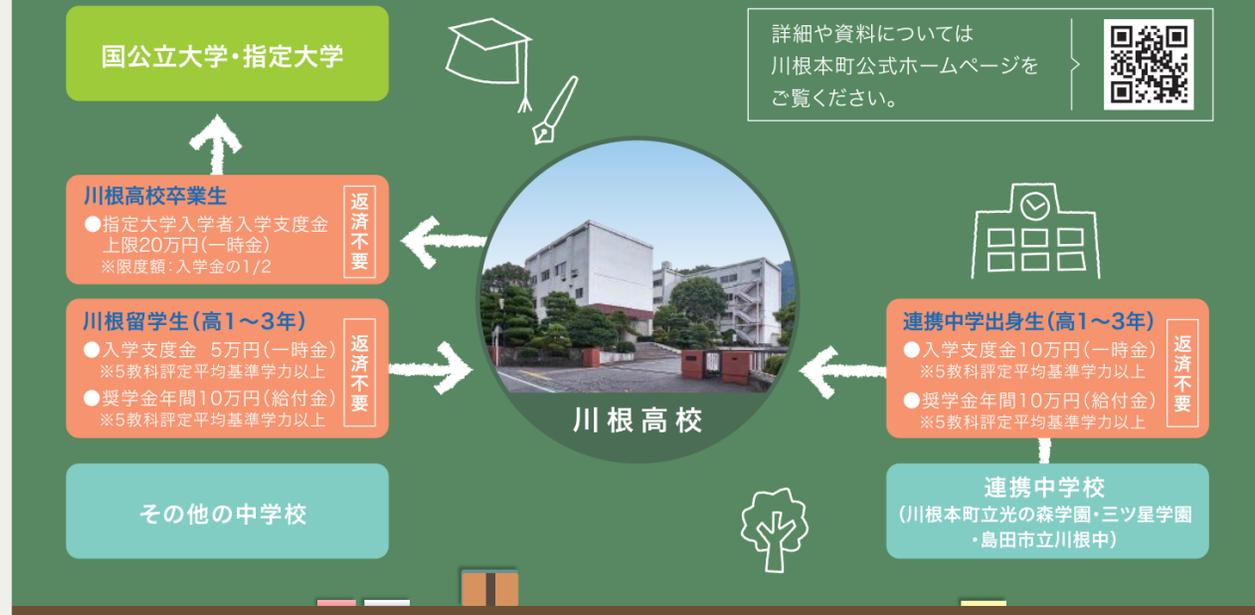
これらは、とても大切なプロセスですが、ゴールではありません。習得した知識をもとに、主体的に創意工夫や状況判断ができなくては、自立した社会生活を送ることさえ困難な時代です。だからこそ、公営塾では一人ひとりの「可能性」を上げ、一つひとつの「選択肢」を増やしていくよう、全力で支援していきます。共に努力し、成長し、夢を創造しながら、一人ひとりの中にあるその「ゴール」を共に導き出していけるようサポートしていきます。



利用料 月4,500円：1コマ120分で月8回まで利用可能
川根中学校3年生は月9,000円(条件により還付あり)



川根本町特別奨学金事業(給付型)



【その他の制度】

提携金融機関による低金利で教育ローンの提供、借入元金の一部や利子相当額の補助が受けられる制度「川根本町ネクストリーダーズプロジェクト」があります。

「川根本町ネクストリーダーズプロジェクト」登録はこちら